



# 月刊 千葉労働者

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.6.22 No. 3238

# 労働者階級の自覚と連帯が 真の労働運動を創造する!

## 闘いの時は今!!

動労千葉第四期第三回労働学校は、争議団としての事業団闘争―夏季物販の展開と、千葉転土岐区長に対する連日の糾弾行動の中、六月十六日、千葉県労働者福祉センターに四五名組合員が結集し、「政治経済情勢と労働運動の課題」をテーマに、埼玉大学経済学部教授である鎌倉孝夫先生をお招きして講演を受け、新たな労働運動の創造とは、労働運動の原点である労働者階級の自覚と連帯を基調とした広範な労働者の結集によって生み出されていくことを確認した。

資本主義体制の危機からの要請である、産報化・右

## 労働者こそ

## 社会の主人公!!



## 知は力なり!

激動の時代を生き、闘い、勝利するために学ぼう! 6.45名が受講

傾化の流れ―「連合」に労働者階級の未来をたくすものなどなく、清算事業団闘争の高揚と「日の丸・君が代」天皇制イデオロギーとの対決が、労働運動そのものの動きを大きく突き動かす、そして、労組交流センターの意義についても、全体がその認識を新たにすることを通して、目からウロコがとれる内容深い講演であった。

世界情勢は、米ソによる二大国支配―東西対立Ⅱヤルタ体制が崩壊し、「ヤルタからマルタへ」の激動の時代へと突入していることを踏まえたいうえで講演へ入り、

### I 世界経済情勢の特徴

ベレストロイカに関わる問題点として、ベレストロイカを導入しなければならなかった背景が、軍事技術優先の経済政策が招いた困窮に対する改革であり、自国(ソ連)の利益を最優先した徹底した一国主義であること、

①当然のごとくここでは民主主義の問題Ⅱ質と内容が問われている。  
②東西ドイツ統一「開放」とは、独占資本による開放であり、新たな市場開拓に  
よって利己主義・金もうけ主義がはびこることに他ならない。  
③では、対極としてある現代帝国主義が変ったのかと言えば、米帝のパナマ・ニカラガア介入など帝国主義の本質は何ら変わっていない。ブルジョアの自由の氾濫に対する、思想的精神的自由の獲得、新たな革命Ⅱ本ものの社会主義を創る時代が到来していること、全世界の反核・反戦Ⅱ民主勢力の結集が問われているのである。

### Ⅱ 日本経済の特徴

八〇年代を通して、巨大企業と弱小企業Ⅰ格差・差別構造の「二重構造」を形成させ、利己心追求と集団的利益(えせ共同性)という中で、世界一の資本供給大国でありながら、労働者の生活は貧窮であり、搾取され続けている。

一方では、「仮想敵国日本」に象徴されるがごとく、日米経済摩擦Ⅱ構造摩擦の深みの中で、多国籍企業による市場争奪Ⅰ弱肉強食の論理を呈している。「連合」とは、こうした財界への協力体制を支えるものなのである。

### Ⅲ 労働運動の課題

労働運動の「質」そのものが大きく問われる時代であり、人間性の再興を追求するものでなければならず企業別の枠を克服し、生活に必要な環境の獲得を目指すこと。資本を中心とした競争を規制し、平和と反帝勢力の連帯を推進することを通して、労働者が社会の主人公として時代を牽引していくこと。

以上の講演と質疑を受け参加した組合員の胸に、われわれが現在展開している闘いの正義性Ⅰ路線と目標の正しさが、脈うつ音さえ聞こえる程であった。